

多様な考えに触れる「小規模校ネットワーク」を活用した、  
生徒の学びに向かう力を高める指導の工夫  
— 中学校理科における単元の探究活動を通して —

研究構想図

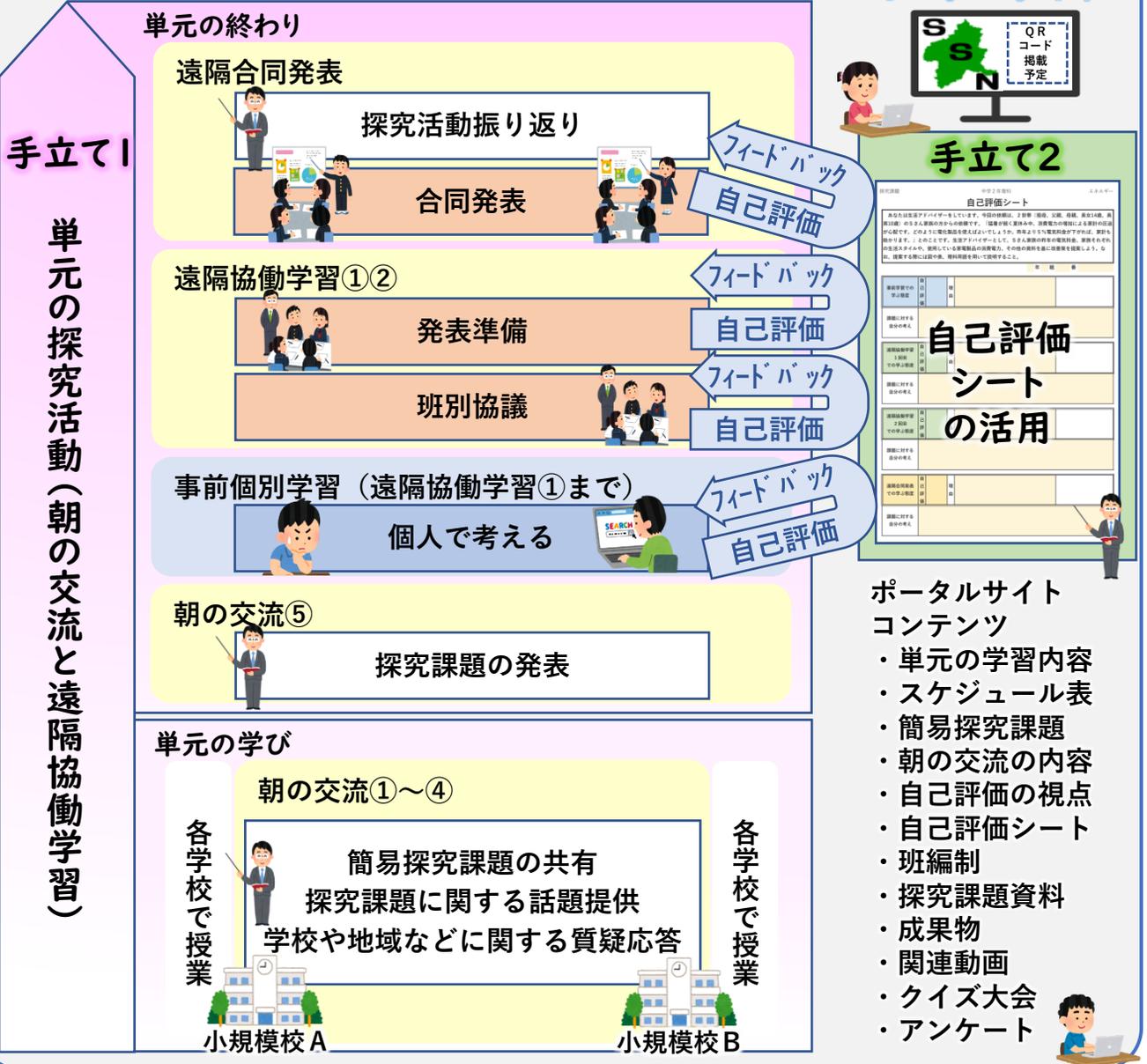
長期研修員 櫻井 大起

目指す生徒の姿

多様な考えに触れ、学びに向かう力を高める生徒

小規模校ネットワーク (Small School Network)

ポータルサイト



小規模校が抱える生徒の課題

- 多様な考えに触れる機会が少ない
- 教師の支援の手厚さによる受け身の姿勢

教師の願い

- 多様な考えに触れてほしい
- 自ら学びに向かう力を高めてほしい

国や県の方針

ICTの活用や、対面指導と遠隔・オンライン教育とのハイブリッド化による指導の充実

## 手立て1 単元の探究活動(朝の交流と遠隔協働学習)

### 朝の交流①～④

仮説の設定



### 朝の交流⑤

探究課題や単元の学習内容についての意識の高まり

- ・簡易探究課題、面白そう
- ・探究課題に関係する話題を身近な例で考えてみると…
- ・探究課題は、生活のことだけど、単元の学びを使う必要があるな

人間関係の広がり  
仲間意識の高まり

- ・学校紹介は緊張するな
- ・向こうの学校の地域にも魅力的な観光スポットやグルメがあるんだな…
- ・ライブでクイズ大会楽しかったな
- ・合同班で課題を頑張ろう

### 事前個別学習

考察・推論

### 遠隔協働学習①

考察・推論

### 遠隔協働学習②

表現・伝達

### 遠隔合同発表

表現・伝達

## 手立て2 自己評価シートの活用

設定した評価の視点を基に記入

遠隔合同発表での学ぶ態度	自己評価	S	理由
課題に対する自分の考え			

生徒の記述より(一部抜粋)

…しっかりと聞くことができた。…違う意見だった場合…どちらのほうが実現性があり…考えながら比較することができた。…詳しく図などで提示できたら…アピールできたな、と発表を聞いて思った。…最後まで自分の意見が変わることはなかったが、自分の考えと違う意見が聞けたため、より説得力のある改善策を提案できた。

主体的に学習に取り組む態度の自己評価

自己評価の視点	S	A	B	C
【遠隔合同発表】	4つの	3つの	2つの	1つの
○「話を聴くときは、最後までしっかりと聴くようにしたか」	視点について記述した。	視点について記述した。	視点について記述した。	視点について記述した。
○「複数の考え方が現れたとき、どの考え方が適切かを判断するようにしたか」				
○「今回学んだことに対して新たな疑問点を見付けるようにしているか」				
○「授業前と授業後で、自分の考えがどのように変わったかを考えることができたか」				

より実現しやすい改善策は…

自分たちでは同じような意見しか出ないことも、他の学校と交流しながら課題に向き合うことで、思い付かないような様々な意見に触れることができた。

自分のできないところをできるようにしたいと思ったし、身に付けようと思った。

### <成果>

固定化された人間関係や人数規模を「小規模校ネットワーク」を活用して改善し、ネットワークを効果的に推進する単元の探究活動や自己評価シートの活用を通して、生徒は、多様な考えに触れ、学びに向かう力を高めることができた。

### <課題>

「小規模校ネットワーク」を効果的にするために、単元の学びを活用した探究課題の作成や課題に合わせた実践方法、取り組みやすい自己評価シートについて考えていく必要がある。

### <提言>

学校規模に関わらず、ICTによるネットワークを活用した遠隔協働学習をすることで、通常授業では得られない学びを実現することが可能です。また、単元のまとまりで遠隔協働学習を行う本研究の骨子は理科に留まらず様々な教科でも応用できます。